

## 会長挨拶

北海道高等学校養護教諭研究会  
会長 三村 素道  
(北海道札幌月寒高等学校長)

北海道高等学校養護教諭研究会のWebページをご覧いただき、ありがとうございます。また、日頃より本研究会に対しましてご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本研究会は1986年の設立以来、高等学校に勤務する養護教諭の資質・能力の向上を図るとともに、道内の高等学校における学校保健の発展に寄与するための活動を続け、今年度で40年目という節目を迎えることとなります。これもひとえに、会員の方々の専門性向上への強い思いや学校保健に対する真摯な取組と、諸先輩方のこれまでの実践や努力の賜物と感謝しております。

さて、学校は個人と社会のウェルビーイングの実現を目指し、生徒たちが全人的な成長を遂げ、社会的に自立し健全な生活を送るための基盤を築く重要な役割を担っています。その中で、養護教諭は生徒たちの心身の健康を支える重要な役割を担っています。救急処置、健康診断、疾病の管理・予防、心身の健康課題に関する生徒等への健康相談、健康相談等を踏まえた保健指導、保健室経営、保健組織活動等を校内において中心的に担うとともに、他の教職員と協力しながら、健康観察、学校環境衛生管理、各教科等における指導への参画など、業務も非常に多岐にわたっています。そのため、生活習慣の乱れやアレルギー疾患、感染症等の新たな課題にも対応できる専門性を身につけるとともに、幅広い分野でICTを活用した効果的・効率的な業務の推進に努めなければなりません。養護教諭として教育的愛情を持ち、生徒たち一人一人が、よりよい人生とよりよい社会の作り手となる力を身につけられるよう、専門性を有する教育職として、常に学び続けていく姿勢が求められています。

本研究会は、今後とも次代を担う生徒たちの健全な育成に向け、お互いを高め合い、ともに学ぶ機会を提供して参りますので、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。